日本林業再生の道　Part Ⅳ
－人材育成と社会システムの構築－

日本と同様に所有規模が零細なヨーロッパで、林業が成立しています。その理由として、資源の成熟、路網インフラの充実、林業機械の発達と効率的活用、社会システムの整備などが挙げられています。
特に、ドイツでは、フォレスター（森林官）と呼ばれる森林管理の専門家が、林業のボトルネックとなっている所有構造をマネジメントによって克服しています。フォレスター入洛の機会を捉えて、ドイツにおける林業関係セクターの役割分担と人材育成などについて学び、日本林業再生に向けた議論を深めるため本シンポジウムを開催します。

◇日　時：2008年7月27日（日）13：00～17：00

◇会　場：キャンパスプラザ京都 **第一講義室**

◇プログラム：

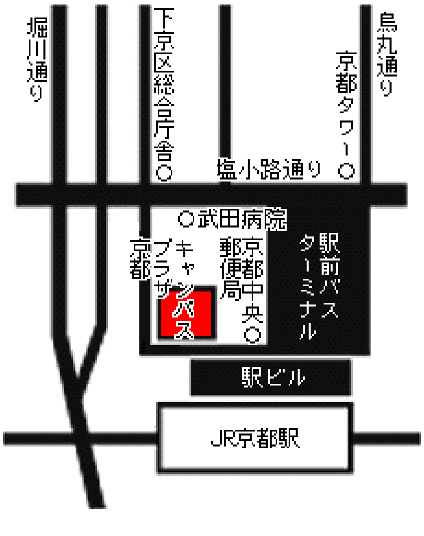
13:00 開会挨拶　森林・木材・環境アカデミー会長 **鈴木和夫 氏**

13:10 講　演
「ドイツの森林・林業とフォレスターの社会的役割」
元ショップハイム営林署長　Gerhard Rieger 氏
「ドイツにおけるフォレスター教育プログラム」
ドイツ在住ジャーナリスト　池田 憲昭 氏

15:30 パネルディスカッション
「日本林業再生の道パートⅣ －人材育成と社会システムの構築－」
パネラー
・Gerhard Rieger 氏（同　上）
・池田 憲昭 氏（同　上）
・長谷川 尚史 氏（京都大学フィールド研）
・佐古田 睦美 氏（近畿中国森林管理局）
・小林 耕二郎 氏（日吉町森林組合）
コーディネーター：相川 高信 氏（三菱 UFJR&C）

16:50 閉会挨拶　NPO 法人才の木理事長 **川井 秀一 氏**

◇参加費：　無　料



会　場：キャンパスプラザ京都
京都市下京区西洞院通塩小路下る

主催：森林・木材・環境アカデミー　　共催：京都府、NPO法人才の木、京都・森と住まい百年の会

後援：近畿中国森林管理局、京都府森林組合連合会、京都府林業改良普及協会、森林利用学会、森林生産システム研究会